

# 生体界面化学研究室

## Biointerface Chemistry

教授 中野 実 Minoru Nakano  
助教 池田 恵介 Keisuke Ikeda

### ◆ 原著

- 1) Ozawa M., Handa T., and Nakano M. : Effect of cholesterol on binding of amphipathic helices to lipid emulsions. *J. Phys. Chem. B*, 116: 476-482, 2012.
- 2) Hirano S., Sekine K., Handa T., and Nakano M. : Continuous monitoring of phospholipid vesicle hydrolysis by phospholipase D (PLD) reveals differences in hydrolysis by PLDs from 2 *Streptomyces* species. *Colloid Surf. B: Biointerfaces*, 94: 1-6, 2012.

### ◆ 学会報告

- 1) 高橋知里, 山田麻紀子, 若林真樹, 石濱 泰, 中野 実 : 蛍光分光法および表面プラスモン共鳴法を用いたリン脂質輸送タンパク質 Sec14 の機能評価. 日本薬学会第 132 年会, 2012, 3, 29-31, 札幌.
- 2) 横山弘和, 吉永 守, 若林真樹, 石濱 泰, 中野 実 : Kes1 のコレステロール輸送活性に対する脂質膜環境の効果. 日本薬学会第 132 年会, 2012, 3, 29-31, 札幌.
- 3) 吉田繁治, Wei-chi K.U., 杉山直幸, 若林真樹, 中野 実, 石濱 泰 : 化学的濃縮法を用いたチロシンリン酸化プロテオーム解析. 日本薬学会第 132 年会, 2012, 3, 29-31, 札幌.
- 4) 吉田匡利, 宇山允人, 石濱 泰, 半田哲郎, 中野 実 : アルキル化リン脂質の鎖長依存的な相挙動の評価. 日本膜学会第 34 年会, 2012, 5, 8-9, 東京.
- 5) 宇山允人, 井上かおり, 木下耕一, 宮原令二, 横山弘和, 中野 実 : ラフト含有リボソームの膜流動性に及ぼすカチオン性界面活性剤の効果. 日本膜学会第 34 年会, 2012, 5, 8-9, 東京.
- 6) 中尾裕之, 若林真樹, 石濱 泰, 中野 実 : カリウムチャンネル KcsA の開閉によるリン脂質の flip-flop 誘起能の評価. 第 50 回日本生物物理学会年会, 2012, 9, 22-24, 名古屋.
- 7) 横山弘和, 若林真樹, 石濱 泰, 中野 実 : PI4P と脂質膜曲率による Kes1 ステロール輸送活性の制御. 第 50 回日本生物物理学会年会, 2012, 9, 22-24, 名古屋.
- 8) 高橋知里, 山田麻紀子, 若林真樹, 石濱 泰, 中野 実 : リン脂質輸送タンパク質 Sec14 の脂質輸送メカニズムの解明. 第 50 回日本生物物理学会年会, 2012, 9, 22-24, 名古屋.
- 9) 池田恵介, 江川文子, 林こころ, 児嶋長次郎, 藤原敏道 : フラグメントアセンブリーに基づく固体 NMR スペクトル再構成による非結晶タンパク質の自動信号帰属および二次構造決定. 第 51 回 NMR 討論会, 2012, 11, 8-10, 名古屋.
- 10) 中尾裕之, 若林真樹, 池田恵介, 石濱 泰, 清水啓史, 中野 実 : リン脂質のフリップフロップに対するカリウムチャンネル KcsA の効果. 第 34 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 2012, 11, 15-16, 京都.
- 11) 横山弘和, 若林真樹, 池田恵介, 石濱 泰, 中野 実 : Kes1 ステロール輸送活性に対する PI4P と脂質膜曲率の影響. 第 34 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 2012, 11, 15-16, 京都.
- 12) 高橋知里, 山田麻紀子, 若林真樹, 池田恵介, 石濱 泰, 中野 実 : リン脂質輸送タンパク質 Sec14 の脂質輸送機構の解明. 第 34 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 2012, 11, 15-16, 京都.
- 13) 池田恵介, 江川文子, 林こころ, 児嶋長次郎, 藤原敏道 : フラグメントアセンブリーに基づく固体 NMR スペクトル再構成による膜タンパク質構造解析. 第 34 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 2012, 11, 15-16, 京都.

### ◆ その他

- 1) 中野 実 : 蛍光技術の脂質膜研究への応用. 蛍光技術交流会 FluoroFest, 2012, 11, 8, 京都. (招待講演)